

紀の国森づくり基金活用事業 事業実施状況報告書

1 事業概要

実施年度	令和4年度	管轄振興局	西牟婁振興局
団体名	番所山を愛する会		
事業名	番所山からエコアクション！		

2 実施状況

事業目的	番所山の森林を活用し、観光客や一般県民と森林保全活動を行い、森林の重要性をPRする。また、小中学生や保護者を対象として夏に番所山の森で粘菌と昆虫の観察会を開催し、次世代へ森と生命について学習する場を設ける。
参加者数	148 人 うち県内在住者 125 人
実施場所	西牟婁郡白浜町番所山3601-1 公益財団法人南方熊楠記念館
実施概要	番所山の森林を歩きつつ、森と海との関わりを解説する森林ウォークを6回(6/12、7/31、9/11、9/25、10/9、11/6)実施した。さらに森林内に散乱するゴミを回収し、環境保全に努めた。その他、粘菌観察会(6/26、7/17)・昆虫観察会(7/24、8/21)では若年層に向けて番所山の森林で採取できる粘菌や昆虫の観察会を実施することで、森林の魅力をPRした。最終的に講演会を開催し、事業の総括を行った。
事業効果	白浜町で実施することで、観光に訪れた県内・県外の参加者を獲得できた。さらに粘菌観察会・昆虫観察会といった若年層向けのイベントでは、対象の子どもだけでなく、その上の保護者の世代に森林の持つ魅力、大切さを伝えることができた。こうした観察会やウォークイベントを続けることで、リピーターの獲得にもつながっている。総括として実施した講演会が好評であった。

実施の様子 (写真)		
	森林ウォーク 番所山のアカウツクスについて解説をしている。	昆虫観察会 昆虫トラップにかかった虫の説明中。
		
	粘菌観察会 落ち葉をひっくり返しながら、さがしている。	講演会の様子。東京大学最先端研究センターの森先生に生物多様性のお話をいただいた。